

議員と語る会

特集号



開かれた議会・町民と共にある議会をめざして ▲下沢畑公民館

2016年12月15日

発行/河北町議会

編集/議会運営委員会

質 河北町らしいまちづくり、永続性、先導性をきちんと研修してリードしてほしい。

答 行政サービスは知恵比べになってきた。町と町民が一緒になって考える場の設定などが大事だと考える。

質 中心街活性化まちづくりコンセプトはどうか。

町の答 魅力ある商店街にするため、空き店舗対策に努めるとともに、どんがホールを中心とした賑わい創出を図っている。

その他の課題地域の課題

質 農閑期に地区の側溝に水が流れてこないの、流してほしい。

町の答 全地区への対応はできないかもしれないが、農繁期と違い水量が少なくなるのでご了解いただきたい。

質 イタリア野菜研究会をもっと応援してほしいか。

答 今でもいろんな応援はしている。今後も議会として努力していく。

質 地域での要望事項への予算獲得はどうすればいいの。

答 区長会などでまとめ、議員や町長と語る会などで要望してほしい。

質 民生委員は誰が選ぶのか。

町の答 民生委員・児童委員については、業務の性質上、地域の事情に精通し、地域からも信頼を得られる方を、担当地域の区長さんなどで協議し、区長の推薦を受け、その後役場で決めている。

質 最上十八番観音の看板が見えない。また引籠湖までの道の草刈りがされていない。

町の答 現地を確認の上対応する。

質 除雪で交差点の見通しが悪い。雪を民家の前に置かないように。

町の答 見通しの悪い交差点については、現地を確認し排雪などを行っている。除雪の雪は、ご協力いただきたい。

この度の議員と語る会において、町民の皆様からいただいたご意見・ご要望は、町に要望します。

町民の要望のまとめ

町の活性化

- 人口減少社会に対応した活力ある町づくりを進める

暮らし

- 木造住宅の耐震改修工事費の一部を補助する制度を確立する
- 町民から寄せられた要望を基に、他の公共交通との接続やバス利用などを考慮し、利用しやすい生活交通体系を図る
- 道の駅出入口の渋滞緩和を図る
- 間口除雪など円滑な除雪対策を進める

社会資本整備

- 庁舎整備は財政を考慮し町民に情報提供を行い、意見を十分反映させる
- 白水仙合流付近の漏水対策を行う
- 溝延の無堤防地区解消

観光

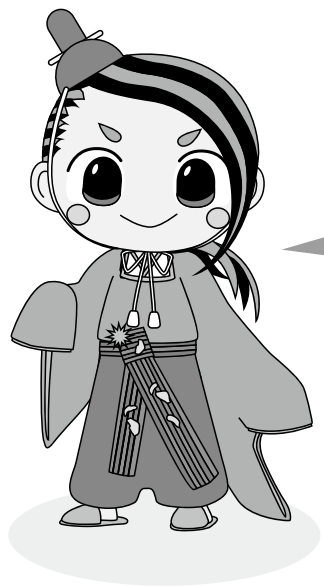
- イタリア野菜のブランド化と産業界全体の活性化のため、独自の支援を行う
- 紅花資料館を観光拠点として位置付け、売店、食事処の充実を図る

教育

- 教育の狙いを明確にした学区再編を進める

班編成	1 班	2 班	3 班
	岡田 桂司 木村 章一 丹野 貞子 吉田 芳美 石垣 光洋	松田 收作 大場 勇人 榎 正義 細矢 誓子 東海林 信弘	増川 修 漆山 光春 齋藤 隆 松田 賀好

開催日	会場	班	参加人数
10月19日(水)	農村環境改善センター(西里)	1 班	48人
	吉野公民館	2 班	16人
	北谷地構造改善センター	3 班	12人
10月20日(木)	下沢畑公民館	1 班	18人
	田井ふれあいセンター	2 班	11人
	畑中農事集落センター	3 班	7人
10月21日(金)	どんがホール	3 班	18人



「ご参加有難うございました」

発行にあたって

河北町議会は、町民に開かれた議会及び積極的な町民参加を推進することを旨とし、平成23年度から「議会報告会」を開催しております。

今年度は10月19日から21日までの3日間、7会場において開催しました。

懇談会では、昨年の語る会で出された要望事項への対応状況、平成27年度決算の概要や課題の取り組み状況等を報告し、出席者の皆さんから貴重なご意見、ご要望等をいただき有意義な意見交換ができました。心から感謝申し上げます。

また、今年度はテーマとして設けた「庁舎建設について」多くのご意見をいただきました。今後の議会活動に活かしていきたいと思っております。

今後とも町民の皆さんと積極的に対話し、信頼される議会づくりを目指していきますのでよろしくお願ひ申し上げます。

河北町議会

議会運営委員会

町民に開かれた議会 情報共有と政策提言で

河北町議会は、10月19日から21日までの3日間、昨年より1会場多い町内7か所で、6回目となる議会報告会を開催しました。参加していただいた方々から、議会と町に対するご意見・ご要望をいただき、それらをまとめましたのでご報告いたします。

議会に対する意見・要望

議員の活動

質 議員と語る会に若い方や女性の参加が少ない。学校の父母参観日に議員が出かけて行って意見を聞いてはどうか。
答 新しい発想のご意見としてお受けする。

質 障がい者の方の傍聴について、議会での手話通訳者の活用、また車椅子での傍聴など可能なか。
答 現段階では車椅子を使用した傍聴は難しい状況である。今後の検討課題としたい。

議会だより

質 議会だよりにも昔の一般質問などを掲載して、町の歴史を知るのも良いのではないか。
答 ご意見として承っております。

政務活動費

質 河北町で政務活動費

はどうなっているのか。間違った使い方などしていないか。
答 河北町では政務活動費はない。研修費として1人、月2万円予算化している。委員会中心に研修し報告書も提出している。なお、この研修費は、議会事務局で管理している。

産直施設

質 産直について町が農協に1億円出資すること

質 女性議員と語る会など開催してはどうか。
答 昨年1回開催した。今後も開催しようと考えている。



北谷地構造改善センター

について要綱を決めてしっかり追及してほしい。
答 平成25年度に財政計画で示され、土地の取得費、造成費に見合った金額と説明を受けた。今後、支出については、平成29年度の予算に示されると考える。町とJAの信頼関係を尊重して議論を進めたい。

質 議員と語る会の通知が遅い。隣組回覧が遅くなる場合がある。
答 今後そういうことがないように配慮したい。

質 「町政報告会」と「議員と語る会」は区別して進めてほしい。
答 議会では町当局の町政報告会開催の提案をしている。議会は、政策決定の経過や課題について、わかりやすく伝える報告会になるようにしたい。

質 新しい産直施設ができるが、現在の最上のほとりの産直、田井川向、溝延舟戸地区の体験交流施設の活用をどのようにしていくのか。
答 良く活用されるよう議会も議論していく。



どんがホール

認定こども園への補助

質 認定こども園に対する補助金支払いの問題とは。また、議会としての対応は。

答 認定こども園補助金交付規程が、平成25年4月1日なのに、借入日が平成24年5月1日で適正なのか。また、補助金交付要綱、規程の中で町長は、一連の補助金交付がこれを載せている例規集の条文等と整合性が欠けていたことについて謝罪

した。議会は全員協議会を開催し、論点を整理し、決算特別委員会の中で議論を行った。
質 町で示された文書を議会が確認したのか。
答 敬愛信の会の配慮で議会が確認した。

質 認定こども園の補助金支出について決算は通ったが、法令遵守に問題があり、議会はチェック機能を果たすべきである。
答 議会力を高め機能を発揮したい。

質 認定こども園への補助金交付の整合性に財務規則が上位法となる。調査したのか。
答 調査していない。

質 認定こども園に入らなかった人が町外に出て行ったと言うのは本当か。残念ながら本当だ。

質 認定こども園の補助金支出に財務規則が上位法となる。調査したのか。
答 調査していない。

町に対する意見・要望

新庁舎整備

質 庁舎整備についてどのようになっているのか。
答 具体的には何もできていない。役場内に「新庁舎建設庁内検討委員会」が作られたが、具体的話はない。ただ、庁舎建設積立金を毎年1億円ずつ積み立てて、今年度で8億円になった。

質 庁舎建設について、耐震的に駄目という結果は出ているのか。
答 平成22年に行った耐震診断で耐震基準に満たないという結果が出た。

産直施設

質 産直のレストランはべに花の里振興公社が運営すると聞いているが。
答 イタリア野菜研究会が準備をしたが、諸事情により断念した。その後、振興公社が運営したいと、町長から議会に話があった。公社による運営については、課題が多く議会でも調査中だ。

質 産直のレ스토랑はべに花の里振興公社が運営すると聞いているが。
答 イタリア野菜研究会が準備をしたが、諸事情により断念した。その後、振興公社が運営したいと、町長から議会に話があった。公社による運営については、課題が多く議会でも調査中だ。

ご意見

1 役場の建設地は中心部の地盤がしっかりした場所が良いし、公共施設はまとめた方が利用するにも便利だ。また、耐震補強した時の金額がわからなくて意見も言えない。
2 お金がかかる立派な庁舎はいらない。町民と対話できるミーティングルームを確保し、執務を

質 役場の建設地は中心部の地盤がしっかりした場所が良いし、公共施設はまとめた方が利用するにも便利だ。また、耐震補強した時の金額がわからなくて意見も言えない。
2 お金がかかる立派な庁舎はいらない。町民と対話できるミーティングルームを確保し、執務を



吉野公民館

質 東根市のよってけポボラは繁盛している。河北町もすっかり魅力発信してほしい。
答 町の農業・観光資源を生かして、町と一緒にがんばる。

質 産直の運営主体とオープン時期は。
答 JAが主体でオープン。29年度と聞いている。
質 産直の集客は大丈夫なのか。
答 町の農産物や特産物など魅力ある品揃えなど、工夫するようJAに要望していく。

みなさまの貴重なご意見を生かす町づくりへ

花ノ木工業団地

質 議会として、花ノ木工業団地(宅地)の用途変更の認識について。
答 当時、宅地は安全な状態との理解で行ったが、その後の調査結果、11月4日に町から、土壌中の鉛が基準値を超え、当該地を立ち入り禁止にし、地下水検査を継続的に行う設備を設置するとの報告があった。関係者へも順次説明会を開催することのことだ。

防災関連

質 沢畑地区は活断層の真上にあり、個人住宅など耐震補強への支援を進めてほしい。
答 今でも耐震診断と補強工事の県の制度がある。議会としても支援制度の要望を町にしていきたい。

防災無線

質 従来設置してあった機器を転用して現在の防災無線を稼働しているが、以前のような時報を



田井ふれあいセンター

知らせる事もなく、地区の端に行くとき聞こえない。住民の意見を聞いて設置したのか。

国保税

質 医療費の割合に対して、町の国保税が高いのは何故か。
答 応能・応益割など制度上の課題がある。30年度の県一本化の時期に考える必要がある。

学区編成

質 教育の狙いを明確にした統廃合を求めたい。

質 小学校の学区編成の進め方は。若い者は小学校の無いところには住みたくない。
答 平成28年度の教育振興計画策定で議論する。

合併

質 合併の話はないのか。
答 平成の合併時はあったが、今はない。

西里財産区

質 財産区は、自分たちの年代までは愛着があったが、今後どうあるべきかを飛び越えて、町に移管したいのが本音だ。
答 総務産業常任委員会で視察し、現在西里財産区管理会で協力金5000円のことや、今後の運営全般について検討しており、その後地区の皆さんに提案されると考える。

農政調査会

質 諮問・調査・答申まで期待していたが結果的には触れられていない。
町の答 調査会での活動した結果が分かりづらい

ものになっていったが、分かりやすくしていく必要がある。

道の駅

質 谷地橋のたもとにあり、駐車場に入る事が容易でない。後続車両の渋滞にもつながっている。
答 施設の持っている弱点多い。今年度から受託した事業者が一生懸命戦略を立て営業している。また、老朽化した設備の改善等もある。
質 他市町の道の駅を見ると、産直と連携させる道の駅に変わってきている。

答 産直の場所は、ひなの湯の利用者(毎日1000人ぐらい)を考えるとJAと協議して決めた。

質 町は道の駅の指定管理者の要望に添えているのか。
答 指定管理者の企業経営の進め方と行政の仕組みなどで課題が生じてきた。議会は、適切な対応を求めている。

紅花・紅花資料館

質 紅花を前面に出してがんばってほしい。
質 紅花資料館の売店、お食事処八景庵の運営を充実させてほしい。また、予約制でなく、車で乗り入れられるよう考えてほしい。
答 先に建物を造り、施設の狙い・運営の中身や運営者を後で決めるやり方で任された経過が問題

路線バス

質 歳入歳出を教えてほしい。また、東部地区路線の利用が少ないようだ。高島町のようにデマンドバスを運行してほしい。
町の答 27年度は利用者1万5626人、収入は171万円、支出は1348万円である。

だった。議会でも改善できるように努力したい。

質 公共交通機関のない中、町営バス・民間バスの利便性の向上を図ってほしい。
答 町の路線バスは路線によって利用者が増加しているところもあるが、時間帯では乗客が少ないようだ。通院などで利用されている方もいるので今後検討するよう伝える。また、民間バスとの協議は意見としてお聞きする。

ふるさと納税

質 ふるさと納税が伸びた要因は。
答 返礼品として、米(はえぬぎ)、果物、肉などで150種類の返礼品をそろえたことが要因ではないか。

まちづくり

質 毎月人口が減っている。2万人を目指すと言っているが、具体的な町の政策を伺いたい。
答 議員も種々の提言を行っており、定住・移住・子育て支援・空き家の利用促進などを進めている。

質 交通の便も悪く、働く場所も少ない。魅力が高め、転出を防ぐ手立てが必要だ。
答 先般、議会として初めて谷地高生と議員の語る会を開催した。若者の率直な意見を伺い、進学しても河北町に戻ってこれるような働く場所の確保など意見があった。
町の答 11月下旬に、学区毎の地区座談会を行っていく。

質 空き家の危険家屋について、金山町などでは撤去費用を予算化して取り組んでいる。本町の条例制定など伺いたい。
答 町では行政処分して持ち主に請求するまで至っていない。
町の答 空き家の利活用(除去を含む)については、町民アンケート調査を行い対応を講じたい。
質 荒小屋地区は、学区と区域が違い活動しづらい。
答 各地区での充分な話し合いの中から、行政区域の変更を考えていただきたい。



畑中農事集落センター

質 リフォーム支援補助金については、町・県の補助金を同時に使えない。
町の答 両方使えるが、県は耐震・省エネ・バリアフリー化など、県の要綱で定める要件を満たすものが補助金となる。

質 都市計画マスタープラン策定に伴い、用途地域の見直しなどあると思うので教えてほしい。
答 今年度策定するため都市計画審議会で審議中

質 側溝の泥上げをしたが、放射能の問題で前に進まない。
町の答 原発事故後に中止をお願いしていたが、25年度から再開するようにした。実施の際は担当課までお知らせ願いたい。

質 側溝の泥上げをしたが、放射能の問題で前に進まない。
町の答 原発事故後に中止をお願いしていたが、25年度から再開するようにした。実施の際は担当課までお知らせ願いたい。